



家庭教育応援通信
バックナンバー



みんなで子育て

西濃県務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職 酒井
電話:0584-73-1111 <内線212>
E-mail: sakai-toshinori@pref.gifu.lg.jp

家庭教育についての
相談はこちらまで。
お待ちしております。

垂井町立府中こども園 家庭教育学級
「リズムダンス・座談会・給食参観」
体験活動参加型・子育てサロン型・園行事参加型
令和8年6月16日(火)

| | 4・5歳 | 1～3歳 | 全年齢 |
|--------|--------|--------|------|
| 9:30～ | 座談会 | リズムダンス | 給食参観 |
| 10:10 | | | |
| 10:25～ | リズムダンス | 座談会 | |
| 11:05 | | | |

親同士つながる充実のひととき

お父さんやお母さんは、日々とても忙しいです。家庭教育学級に参加するにも、お仕事の都合でお休みをとらなければならない方も多くいらっしゃいます。府中こども園では、そうした保護者の皆さんの状況に配慮し、午前中に3種類の家庭教育学級をぎゅっと凝縮して実施しました。

リズムダンスでは、保護者会のつながりを生かし、垂井町出身の講師をお招きしました。親子で音楽に合わせてながら、楽しく体を動かし、自然と笑顔があふれる時間となりました。



～座談会～

- 時短料理・手抜き料理など...
- 買って良かった100均グッズ
- 子どもとの休日の過ごし方
- 子どもが爆食するメニュー (笑)
- みんなの節約術 (子育て家電代など)
- ママ・パパのリフレッシュ方法
- 子どもがハマっているもの (アメイジング)
- 「うらたろろ」と思う (野菜の炊飯炊き込み)
- 神アイテム (買って良かった家電、便利グッズ)
- 給食レシピ (家で作るお弁当メニュー)

グループでお話しする時に使ってください。
役員一同

役員さんが考えられたテーマ例

座談会では、普段あまり接点のない保護者同士でグループをつくり、保護者会役員の皆さんが考えたテーマに沿って交流を深めました。特に、お父さんのグループが2つもできるほどの参加があり、役員の方も喜ばれました。同じこども園に通う家庭同士、同じ地域に住んでいるからこそその共通点がたくさんあります。身近な情報を共有できるだけでなく、保護者同士のつながりが生まれ、心強い関係づくりができました。

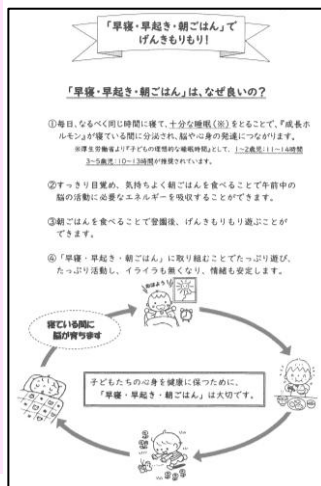


給食参観

子どもたちは自分で準備をして、おかずを取りに行き、友達と一緒に食事をします。普段の園での様子ですが、参観では初めて集団の中でのわが子の姿を見る保護者も多く、「しっかり食べていてびっくり」「家との違いに成長を感じた」といった声が聞かれました。



また、給食の時間に合わせて園から「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さについて、子どもには絵カードで伝えていることや、家庭でも一緒に取り組んでほしいという話がありました。



パパは何を話していたのでしょうか？ 子どもとの時間とパパの楽しみ

休日は公園や少し遠出をして遊んだり、虫取りや魚とり、プールに出かけるなど、子どもとの時間を大切にしています。家でなまずを飼うなど、興味につながる工夫も見られました。

また、リフレッシュ方法として、洗車やバイク、多肉植物の育成、3Dプリンターでのものづくりなど、それぞれの楽しみ方でリフレッシュしてみえる様子が語られました。

養老町立養老小学校 家庭教育学級 情報モラル講演会

令和8年5月15日(金)

10:45~12:15

対象: 4~6年生児童・保護者



PTAの願いで開催された講演会

今や児童がスマホやゲームなどでネットにつながるものがあたりまえになっている状況です。数年前には考えられないことがスマホでできるようになっています。生成AIを使っている児童もいます。しかも、スマホを所持している年齢はどんどん低下しており、SNSやインターネット上のトラブルも増えています。家で友達とネットゲームでトラブルとなり、翌日、登校早々ケンカになり、人間関係が崩れるということも多くなってきています。

この講演会は、「児童が知らず知らずのうちに被害者や加害者にならないように最新の情報を学んでほしい」というPTAの願いを学校に届け、実現した講演会です。トラブルが起きやすい長期の休みに入る前に行いました。今回は、4年生以上の児童対象で、保護者にも案内を送り、一緒に聞きました。

参加した保護者からは、「子どもたちに話してほしかったことを分かりやすく伝えていただけてよかったです。」と感謝の言葉がありました。

1~3年生の児童対象の講演会は、養老町統一授業参観の日に行い、全保護者が参加できるように計画しています。

外部講師の「講演会型」を保護者も一緒に！

【講話内容をまとめたチラシ】



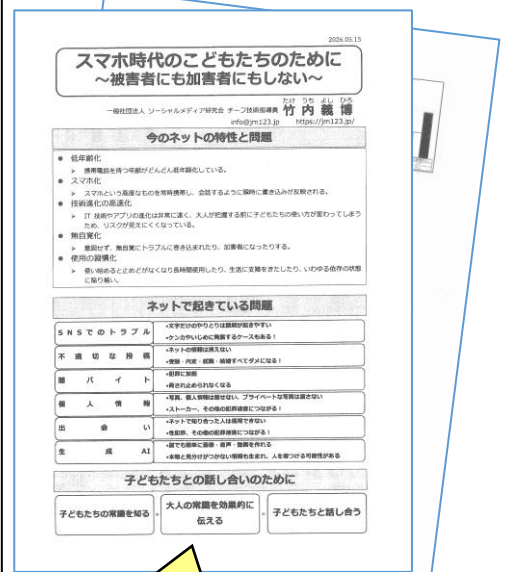
正しくこわがり、かしこく使おう！

【講師】

一般社団法人ソーシャルメディア研究会

竹内 義博 氏

- AIは本物みたいな絵や文章を作れるが、いつも正しいとは限らないし、人の心は持っていない。最後に考えるのは人間。だから、人を大切にする使い方を考える。
- SNSでのやりとりは、相手の顔、様子、声の感じが分からない。
 - 「何でくるん？」 = 「乗り物は何？」と聞いていることが、「どうして来るのか。こなくてもいい。」と誤解される
 - 「もうええよ」 = 「気にしなくていいよ。」の思いが、怒って「どうでもいい。」と言ったと思われる。
- 知らない人が自分のことを知っている。
 - 個人情報に気を付けて：「書かない」「教えない」「会わない」
- ゲームをやめられない。
 - 家族のいる場所で使う。ルールを守って使う。やった時間を記録する。
- 家族でルールを作ろう！①時間②場所③マナー④課金・買い物
- 困ったら相談
 - 家族、先生など身近で、実際に会って知っている人に。警察などの専門家につないでくれる。
 - AIは共感してくれるが、深刻な話は相談しない。



スマホやインターネットを利用する子どもたちが、被害者にも加害者にもならないようにするために、大人と子どもが正しく理解し、話し合いながら安全な使い方を身につけることの重要性を端的に伝えるチラシが全員に配付されました。参加されていない保護者にも、本日の内容が伝わります。

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動



～家族の絆を深めるひとときをいっしょに～

岐阜県では、親子や家庭内における「ほめる・励ます・アドバイスする」といった豊かなコミュニケーションを育むことを目的に、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を推進しています。

多くの園や学校では、夏休みや冬休みなどの長期休業を活用し、家族でじっくり向き合う時間を大切にしながら、この取組を進めています。

ご家庭でも、日々の生活の中でお子さんと語り合い、「わが家の約束」を考えてみましょう。小さな約束が、家族のつながりをより深め、子どもたちの健やかな成長につながります。

まずは「わが家の約束」のよさを、動画でチェック！

非認知能力を育む

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動

<https://youtu.be/wrAGnbLu1vI> (5分48秒)



若い人たちに伝えたいことは？

僕なんかと比較にならないぐらい、才能にあふれた人がいっぱいいる。

でも、その才能を生かすも殺すも自分自身。

自分の能力を生かす能力は、また別にあるということを知っておいてほしい。



イチローさん米国野球殿堂入りでのインタビュー

イチローさんも非認知能力の大切さを伝えています。

① めあての共有
親子でいっしょに考えましょう！

② 取組の見える化
ふり返りをしましょう！できないときでも、温かく見守りましょう！

③ 言葉で伝える
親子で気持ちを伝え合う時間を楽しみましょう！

夏季休業中だけでなく、家庭教
育を実践する日に合わせて取り組
むと効果的です。
・第3日曜日(家庭の日)
・8のつく日(早く家へ帰る日)



実践カード

わが家の約束・1家庭1ボランティア・親子一緒にチャレンジの3種類あります。

おうちで家庭教育
(在宅取組型家庭教育学級)
10種類の動画と動画二次元コ
ード付き案内文があります。



「話そう！語ろう！わが家の約束」運動をさらに広げるため、デジタル版チラシを7月上旬に、県内すべての幼保こども園、小・中学校、特別支援学校に配信します。

このチラシは、デジタル配信(PDF)のため、約束運動を進める上で役立つ情報のほか、家庭教育情報や動画コンテンツなど、ほぼ1タップで見ることができます。

「現在作成中のため、一部内容が変更となる場合があります」

大垣市立青墓こども園 家庭教育学級 褒めて認めて 親子でにっこり大作戦！

令和8年6月1日(月)～7日(日)

主催：青墓こども園ひまわり会

対象：全保護者



これも、「話そう！語ろう！
わが家の約束」運動です。



「褒めて・認めて」笑顔が広がる一週間

「ひまわり会」は、青墓こども園の保護者会の名称です。毎年この時期には、あいさつをテーマにした在宅での取組を行い、親子のつながりを深めてきました。今年は新たに、「褒めて認めて 親子でにっこり大作戦！」という素敵な名前の活動が実施されました。

この取組では、子どものよいところを見つけ、言葉かけやスキンシップを通してしっかり褒めていきます。そして、できたことに対して配布されたシールを貼りながら、親子で1週間をふりかえる内容となっています。

子どもは褒められることが大好きです。褒められることでやる気が高まり、自分から進んで行動するようになり、その姿がまた褒められるという、よい循環が生まれます。子どもの成長を感じた保護者の笑顔は、さらに子どもの笑顔を引き出します。わずか1週間とは思えないほどの変化が見られ、取り組んだ保護者からは、

「できたことを見つけるようにしたら、子どもの成長をすごく感じました！」

「褒めることを毎日意識することで、子どもの見方や接し方が変わりました。」

「素敵な計画をありがとうございます。」といった喜びの声が届きました。



「ばくってすごい！」自信がぐんぐん育っています

- ・自分からも「すごいでしょ！」「天才でしょ」とよく言うので、自己肯定感が高まっているなあと思います。
- ・1回だけでなく、何度もほめてもらえるのがうれしいみたいで、ほめられる努力をしていてくれました。
- ・1日に何回も「〇〇ちゃん、できた～！！」と繰り返し伝えてくれます(^-^)
- ・ほめられると恥ずかしそうにしていたけど、かわいかったです♡
- ・「すごいね！」や「できたね！」と言うと、とても笑顔になってくれます。



ぎゅっとする時間が増えて、 心もほっこり

- ・取組の期間、スキンシップが増えました！毎日ハグしまくりました！
- ・ほめることを意識することで、スキンシップが増え、親子で機嫌よく過ごすことができました。



「やってみるね！」「できた！」が どんどん増えました

- ・最初は声かけをしていたけれど、自分から「〇〇したよ。」とお手伝いをしてくれるようになりました。
- ・ありがとうや助かったよなどの声かけをすることで、自分から進んでお手伝いなどに取り組んでくれました。
- ・苦手なものが入ったご飯を完食したり、お風呂掃除をしたりするなど、自分から行動する姿が見られました。
- ・毎日自分が着たどろんこ着やパジャマを洗濯かごに入れられるようになりました。



第2回家庭教育学級

褒めて認めて 親子でにっこり大作戦！

第2回家庭教育学級では、親子の心のつながりを深めようと、『褒めて認めて 親子でにっこり大作戦！』を計画しました。お子さんの良い所を見つけ、「ありがとう」「〇〇できたね」「うれしかったよ！」など、言葉やスキンシップで褒めてみましょう。お子さんは見守ってくれている、愛してくれている、という安心感と自信をもつことができます。さらに、親子のきずなを強くします。まっとうおさんたちはたっぷり愛情を感じ、褒められることでよりいっそう子どもの心は育っていきますよ。

| 1日(月) | 2日(火) | 3日(水) | 4日(木) | 5日(金) | 6日(土) | 7日(日) |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | |

実施されたら笑顔にシールを貼り、親子で振り返ってあげてください。

シールは用紙に綴じて、
7つ配りました。

「ありがとう」がふえて、 やさしさが広がりました

- ・「ありがとう」と伝えることで、子どもも「ありがとう」と言う場面が増えました。



一日のしあわせを分かち合う、 あたたかい時間

- ・毎日寝る前に、1日のよかったことを聞いて、お話して、幸せな気持ちで寝ています。

